

くみん通信

くるみん(次世代認定マーク)を取得しました!!



本学は平成27年4月28日付で、長野労働局より次世代育成支援対策推進法第13条に基づく基準適合一般事業主(子育てサポート企業)の認定を受け、次世代認定マーク(愛称:くるみん)を取得しました。

これは、「信州大学一般事業主行動計画(第2期)」を策定、実施し、目標に定めた5つの項目〔妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保、育児休業を取得しやすい職場環境の整備、男性の育児休業を取得するための措置の実施〕などすべてを行動計画期間中の昨年度までの5年間に達成したこと、また、9つの認定基準すべてをクリアしたことから取得することができました。

平成27年4月1日には、第3期行動計画の届出を長野労働局へ提出しました。

今後も、教職員が仕事と子育てを両立することができ、全員が働きやすい職場環境を整備することにより、全ての教職員がその能力を十分に発揮できるよう努めてまいります。



☆くるみんマークとは☆

仕事と子育ての両立に積極的に取り組んでいる企業の証で、一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から認定を受けた場合に表示できるマークです。赤ちゃんが大事に包まれる「おくるみ」と、「職場ぐるみ・会社ぐるみ」で子どもの育成に取り組もうという意味があります。

くるみん取得のための9つの認定基準

- [1] 雇用環境の整備について、行動計画策定指針に照らし適切な行動計画を策定したこと。
- [2] 行動計画の計画期間が、2年以上5年以下であること。
- [3] 策定した行動計画を実施し、それに定めた目標を達成したこと。
- [4] 平成21年4月1日以降に策定・変更した行動計画について、公表及び従業員への周知を適切に行っていること。
- [5] 計画期間において、男性従業員のうち育児休業等を取得した者が1人以上いること。
- [6] 計画期間内の女性従業員の育児休業取得者が、70%以上であること。
- [7] 3歳から小学校就学前の子を養育する従業員について、「育児休業に関する制度、所定外労働の制限に関する制度、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置に準ずる制度」を講じていること。
- [8] 次の①から③のいずれかを実施していること。
 - ①所定外労働の削減のための措置
 - ②年次有給休暇の取得の促進のための措置
 - ③その他働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置
- [9] 法および法に基づく命令その他関係法令に違反する重大な事実がないこと。

くるみん取得のご挨拶



山沢 清人
学長

教職員が仕事と子育てを両立させ、その能力を十分に発揮できるような環境整備を続けます。



渡邊 裕
理事/副学長

今後も、教職員一人ひとりがより活躍できる柔軟な働き方の整備やワーク・ライフ・バランスの実現を目指します。



松岡 英子
男女共同参画推進室長

今後も働きやすい環境づくりに加えて、働き方そのものの見直しにも取り組んでいきます。さらに、「プラチナくるみん」を目指します。

目標1

母性健康管理、母性保護の措置の内容について周知を図り、妊娠中や出産後の女性職員が安心して働き続けることのできる職場環境を構築する。

対策

- ・妊娠、出産、産後期に取得可能な休暇等を学内報等で周知・啓発し、職場内での理解を深めることで、取得しやすい環境を整備する。



目標2

男性の子育て目的の休暇制度の周知を行い、取得を促進する。

対策

- ・配偶者出産付添休暇、育児参加休暇の周知のための効率的方法を検討し、周知を実施するとともに、取得対象範囲の拡大を検討する。



一般事業主行動計画(第3期)を策定しました。

次世代育成支援対策推進法の有効期限が平成37年3月31日まで10年間延長され、引き続き次世代法に基づき労働者の仕事と子育ての両立のための一般事業主行動計画を策定し、都道府県労働局に届出を行うことが義務付けられています。本学においても、職員が仕事と子育てを両立させ、その能力を十分に発揮できるような雇用環境の整備を行うため、平成22年4月からの5年間にわたり実施した行動計画(第2期)が終了し、第3期行動計画(平成27年4月1日～平成32年3月31日)を策定しました。

目標3

計画期間内に育児休業の取得状況を次の水準以上とし、達成した場合は同水準の維持に努める。

男性職員：計画期間内に3人以上取得すること。

女性職員：取得率を80%以上とし、希望者全員が取得できる環境とする。

対策

- ・育児休業取得に関する情報の周知を年に1回実施する。
- ・男性の育児休業について職場の理解が得られるよう、学内報等で制度を全教職員に周知する。
- ・管理職者には管理職研修等において制度の説明を行い、意識啓発を図る。
- ・育児休業期間中の代替要員の確保や、業務分担等の見直しを行う。



第2期では男性1人、女性70%が目標でした。

目標4

仕事と生活の両立のため、働きやすい雇用環境を整備する。

対策

- ・「ノー残業デイ」を継続して実施する。
- ・学内における会議等について、所定勤務時間内に開催することを周知徹底する。
- ・年次有給休暇を取得しやすい職場環境を構築するため、定期的な学内周知、意識啓発活動を実施する。
- ・ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催し、働き方に対する意識啓発を実施する。
- ・引き続き男女共同参画推進室及びイコール・パートナーシップ委員会と連携し、情報提供・研修を実施する。



長野県

「社員の子育て応援宣言！」に登録しました。

「社員の子育て応援宣言！」登録証

住所 信州大学3-1-1
名称 国立大学法人 信州大学
代表者氏名 山沢 清人

貴法人は、従業員の仕事と子育ての両立を支援するために、次の取組みを行うことを宣言しました。

宣言内容

1. ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、年次休暇の取得を促進します。
2. 育児休業・育児短時間勤務制度を取得しやすい環境づくりに取り組みます。

【登録期間：平成27年5月1日～平成29年4月30日】

平成27年5月1日
長野県知事 門部 守

宣言内容

1. ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、年次休暇の取得を促進します。
2. 育児休業・育児短時間勤務制度を取得しやすい環境づくりに取り組みます。

長野県が実施している「社員の子育て応援宣言」に登録申請を行い、このたび、子育て応援企業として認定されました。この宣言は、従業員の仕事と子育ての両立ができるような「働きやすい職場環境づくり」の取り組みを宣言するものです。本学は5月1日に登録が認められ、長野県知事より登録証が交付されました。

詳細は、長野県のウェブサイトからご覧いただけます。

信州大学 社員の子育て応援宣言

検索

子育て コラムリレー Column Relay 第1回

子育て応援宣言の登録に伴い、今年度より本学で子育て中の教職員を紹介するコーナーを新設いたしました。
第1走者は、教育学部の蛭田先生にお願いしました。

現在、我が家は私、妻、1歳9ヶ月になる娘の3人暮らしです。両親が遠方なため、妻はずっと娘と過ごすことに楽しいながらも疲れがみられます。休日には、なるべく娘と二人でお出かけをして妻が一人の時間をもてるように心がけています。しかし、休日の短い時間でも歩くことが楽しくてしょうがない娘は目がはなせないで、ついて行くだけでもとても大変です。そうした時に、日頃の妻の苦労を垣間見るとともに感謝の気持ちが生まれます。家事をすることには慣れているのですが、平日はなかなかできないため休日は食事を含め、多くのことをやるようにしています。

この4月から妻が、通信制高校の非常勤講師を始めることになり、月曜日に保育所を利用することになりました。

ひるた すなお
蛭田 直 先生 | 学術研究院助教（教育学系）
美術教育 構成・デザイン研究室



家族構成

妻、娘（1歳9ヶ月）

お子様からの呼ばれ方

ぶーちゃん

（私に限らずお母さんもぬいぐるみも全部）

現在の悩みは、一日保育をお願いした場合の保育費です…。色々と大変なことはありますが、笑顔が絶えない生活が送れているので、これからも妻への感謝を忘れずに楽しい日々が送れるようにしていきたいと思っています。



次回はこの方！ 竹下 欣宏 先生 学術研究院准教授（教育学系）

■ 所 宏美さん「国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン 女子大学院生奨学金」取得おめでとうございます！

本学理工学系研究科修士課程2年、機械・ロボット学系バイオエンジニアリング課程橋本研究室の所宏美さんが「2014年度国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン女子大学院生奨学金」を取得し、6月15日に授与式が行われました。「女子大学院生奨学金」は、学業・人材ともに優秀な女子大学院生に対し、奨学金（120万円）を援助し、将来社会に貢献し得る人材を育成することを目的としています。今回は全国で60名が推薦され、そのうち3名が選考されました。

国際ソロプチミストとは管理職または専門職の分野で活躍する女性で組織される奉仕団体です。女性の地位向上に努め、国際理解と世界友好に貢献することを目的として活動しています。

所さんの研究は、衣服のように身につけることによって、高齢者や障がい者の生活動作を助ける補助ロボットの開発です。



ソロプチミスト表彰状



ソロプチミスト授与式の様子
長野一みすず 市川会長と所さん

受賞者 所 宏美さんより

今回、国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョンという大きな場で、賞をいただけること大変嬉しく思います。また、こうして賞をいただけるだけの研究をしていることに誇りを感じました。このようなきっかけをもとに、今後もより一層研究に励みたいと考えております。

国際ソロプチミスト長野一みすず 市川由紀子会長より

ソロプチミスト、中央リジョンにおける大学院生奨学金授与事業は、人間社会貢献度の高い研究に携わる学生に対する奨励を目的にしておりますので、所氏の研究内容が実践的な視点に立って、社会貢献を第一義に捉えているところが、我々の理念と一致するところであります。所氏におかれましては、今後、その情熱をあらゆる分野に発揮し、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



指導教員の橋本稔教授と所さん

■ 「うまれる ずっと、いっしょ。」上映会を行いました。

6月23日から30日は内閣府の推奨する男女共同参画週間であることを受けて、映画「うまれる ずっと、いっしょ。」の記念上映会を行いました。この映画は“最愛の妻を失った事実に向き合う夫”“重篤な障がいを持つ子を育てる夫婦”“血の繋がりのない息子に向き合う父”という3家族の姿を通し、常に密接にある“生と死”を凝視しながらも、そこから脈々と受け継がれていく生命、生きる力、そして、「家族の絆とは何か？」を考える文部科学省・厚生労働省推薦のドキュメンタリー映画です。

第1作と合わせて、全キャンパスで上映しました。



● 上映会感想 ●

- ・自分が今生きていることに感謝し、この命のバトンを私もつなげていきたいと思いました。
- ・これから大人へとになっていく学生の皆さんに是非見てもらいたいと思いました。
- ・子どもが2人いますが、今の姿は当たり前ではなく、感謝することに気がつきました。
- ・出産前に観ることができてためになってよかったです。
- ・女性は大変だと思いました。職場環境が良くなり出産に臨みやすくなるとよいです。
- ・自分の遺伝子を残したくないと言っていた主人公が、妻の出産を経て、父になるってすごいなー、と思いました。



お問い合わせ

信州大学 男女共同参画推進室 (SuFRé)

松本分室
(総務部人事課内)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
TEL 0263-37-2167 内線 811-2127 FAX 0263-37-3314

長野分室
(教育学部内)

〒380-8544 長野市西長野 6-0
TEL/FAX 026-238-4048 内線 831-4048

開室時間

9:00 ~ 17:00 (月~金)

E-mailsufre@shinshu-u.ac.jp

信州大学 スフレ

検索